

沖縄県指定西銘岳鳥獣保護区
西銘岳特別保護地区

指定計画書

平成 27 年 11 月 1 日

沖縄県

1 特別保護地区の概要

(1) 特別保護地区の名称

西銘岳特別保護地区

(2) 特別保護地区の区域

沖縄県国頭郡国頭村所在国有林宇嘉事業区 55 林班イ小班及び 56 林班イ小班的各一部の区域

(3) 特別保護地区の存続期間

平成 27 年 11 月 1 日から平成 47 年 10 月 31 日まで (20 年間)

(4) 特別保護地区の指定区分

希少鳥獣生息地の保護区

(5) 特別保護地区の指定目的

西銘岳鳥獣保護区は、沖縄県国頭郡国頭村字宇嘉集落から東側へ約 3.5km に位置し、西銘岳 (420 m) を含み、西側はチヌフク林道、中央部には伊江林道が東西に通っており、奥川、座津武川、辺野喜川の流域が含まれる。また、当該区域内は、ほぼ全域がイタジイ林となっている。

このような自然環境を反映して、国指定特別天然記念物のノグチゲラを始め、国指定天然記念物のヤンバルクイナやホントウアカヒゲなど希少な鳥類が生息している。

当該鳥獣保護区の中でも特に、西銘岳周辺は、ノグチゲラ、ヤンバルクイナ、カラスバトなどの希少鳥類が確認されており、繁殖に適した自然環境が維持されていると考えられることから、当該地区を鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 29 条第 1 項に規定する特別保護地区に指定し、当該地区に生息する希少鳥類の保護及びその生息地の保護を図るものである。

2 特別保護地区の保護に関する指針

(1) 保護管理方針

- 1) 鳥獣のモニタリング調査を通じて、当該区域内の鳥獣の生息状況の把握に努める。
- 2) 鳥獣の生息環境を脅かすような人の不用意な行為を防止するため、現場の巡視、関係地方公共団体、NPO、地域住民等と連携した普及啓発活動等に取り組む。

3 特別保護地区の区域に編入しようとする土地の地目別面積及び水面の面積

総面積 30 ha

内訳

ア 形態別内訳

林 野 30 ha

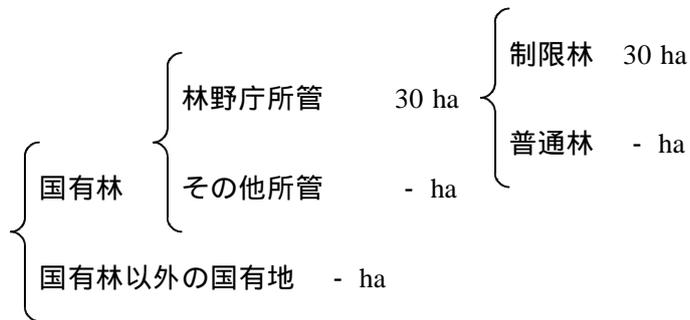
農耕地 - ha

水 面 - ha

その他 - ha

イ 所有者別内訳

国有地 30 ha



地方公共団体有地 - ha

私有地等 - ha

公有水面 - ha

ウ 他の法令（条例を含む）による規制区域

自然環境保全法による地域 - ha

自然公園法による地域 - ha

文化財保護法による地域 - ha

4 指定区域における鳥獣の生息状況

(1) 当該地域の概要

ア 特別保護地区の位置

当該区域は、西銘岳鳥獣保護区の西側に位置し、西銘岳(420 m)を含み、西側はチヌフク林道、東側は国頭村有林境界に囲まれた区域である。

イ 地形、地質等

当該区域の地形分類は、概ね山地一般斜面であり北東部に山頂緩斜面がある。表層土壌は、概ね乾性黄色土壌で一部に適潤性黄色土壌が混在する。

また、表層地質は、東部は概ね名護層粘版岩、千枚岩・泥質片岩(始新世～白亜紀)となっている。

ウ 植物相の概要

当該区域は、概ねリュウキュウアオキ - スダジイ群落が占めており、シイ・カシ萌芽林が混在する。また、92科 322種の維管束植物が確認され、重要な種として、オキナワセッコク、ヨウラクヒバ、リュウキュウカイロランなどが確認されている。

エ 動物相の概要

西銘岳鳥獣保護区でこれまで、国指定特別天然記念物のノグチゲラを始め、国指定天然記念物のヤンバルクイナやホントウアカヒゲなどの鳥類が確認されており、ワタセジネズミなどのほ乳類も確認されている。

平成 26 年度の現地調査により生息が確認された鳥獣は下記(2)のとおり、鳥類 13 科 20 種であり、ほ乳類は 1 科 1 種である。平成 26 年度の現地調査にて確認された鳥獣以外にも、リュウキュウツミ、ヤマシギ、アマミヤマシギ、リュウキュウコノハズク、リュウキュウアオバズク、アマツバメ、リュウキュウアカショウビン、ツバメ、リュウキュウツバメ、ヤブサメ、ウグイス、エゾムシクイ、リュウキュウキビタキ、リュウキュウサンコウチョウ、オリオオコウモリ、オキナワコキクガシラコウモリ、ヒナコウモリ的一种、クマネズミ、リュウキュウイノシシなどが確認され、西銘岳鳥獣保護区では、少なくとも鳥類 31 種、ほ乳類 6 種の生息が確認されている。

(2) 生息する鳥獣類 (平成 26 年度調査結果)

ア 鳥類

目	科	種名ないし亜種名	種の指定等
タカ目	タカ科	サシバ	V U
ツル目	クイナ科	ヤンバルクイナ	国天、C R 国内希少
ハト目	ハト科	カラスバト ズアカアオバト キジバト	国天、N T
フクロウ目	フクロウ科	リュウキュウコノハズク リュウキュウオオコノハズク	V U
キツツキ目	キツツキ科	ノグチゲラ リュウキュウコゲラ	特天、C R 国内希少
スズメ目	サンショウクイ科	リュウキュウサンショウクイ	
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	
	ツグミ科	ホントウアカヒゲ	国天、E N 国内希少
		シロハラ	
		マミチャジナイ	
	ウグイス科	ウグイス	
	シジュウカラ科	ヤマガラ シジュウカラ	
	メジロ科	メジロ	
	アトリ科	マヒワ	
	カラス科	ハシブトガラス	
合計	6 目	13 科	20 種

イ 哺乳類

目	科	種名	種の指定等
モグラ目	トガリネズミ科	ワタセジネズミ	N T
合計	1 目	1 科	1 種

(注)

- 鳥獣の目・科・種 (和名) 及び配列は、日本野生鳥獣目録 (2002 年 7 月、環境省自然環境局野生生物課) に拠った。
- 種の指定等の要件は次のとおりである。
国天：国指定天然記念物 特天：国指定特別天然記念物
レッドリスト (平成 24 年環境省) (ア鳥類)

レッドリスト(平成24年環境省)(イ哺乳類)

CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

国内希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少種

国際希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少種

特定外来:特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律による特定外来生物

- 3 印は一般的に見られる鳥獣。アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第7条第6項第1号により特に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣及び天然記念物に指定された鳥獣。

(3)当該地域の農林水産物の被害状況
なし

- 5 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第32条の規定による補償に関する事項

当該区域において、鳥獣の生息及び繁殖に必要な施設を設置することにより損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失の補償をする。

- 6 鳥獣保護区の維持管理に関する事項

鳥獣保護区制札(特別保護地区用) 2 本

沖縄県指定 西銘岳鳥獣保護区及び同特別保護地区位置図



沖縄県指定西銘岳特別保護地区区域説明図

